

第6次「長生地域農林業振興方針」体系図（R4～7） ～長生地域の魅力を活用した持続可能な農林業の実現に向けて～

I 長生地域農林業の現状と課題

現状

- ◆ 担い手の高齢化や減少に加え、地域農業の後継者不足
- ◆ 価格の低迷や施設等の老朽化などによる園芸品目の生産量の減少
- ◆ 小規模経営体の離農の加速化により、大規模水稲経営体や集落営農組織への農地集積が進む一方で、集約化が遅れ
- ◆ 台風や異常気象の影響による、生産基盤の被害の拡大

課題

- ◆ 地域農林業の担い手の育成と確保
- ◆ 園芸産地の維持と強化
- ◆ 水田営農の維持と集落機能の強化
- ◆ 自然災害に対する対応強化

情勢の変化

- ◆ 米政策の変化（飼料用米等の新規需要米や高収益作物の取組強化）
- ◆ 経済の国際化の進展（RCEP等）
- ◆ ライフスタイルの変化に伴う食と流通の変化（高齢者世帯数の増加、食の個食化）
- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大等による肉食・中食の拡大
- ◆ 農林水産業における環境負荷軽減などSDGsに対する取り組みの推進
- ◆ 気象変動の影響による自然災害に対する防災機能の強化



II 主要施策の推進目標と推進方策



トマト産地

○基本方針

- ・長生地域の農林業を支える担い手が確保され、持続可能な産地の実現
- ・スマート農業技術を活用した生産性の向上と環境に配慮した生産活動の実現
- ・災害に対する迅速かつ的確な危機管理

○基本施策

- 1 多様な担い手（人材）の育成
 - (1) 地域農業の担い手の確保
 - (2) 優れた経営体の育成
 - (3) 林業・林業を支える多様な人材確保・育成
- 2 長生地域の生産振興
 - (1) 施設野菜産地の維持強化
 - (2) 露地野菜産地の維持強化
 - (3) 果樹・花き産地の維持強化

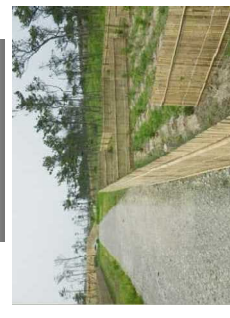
- (4) 農産の生産基盤の強化
- (5) 畜産の生産基盤強化
- (6) 森林・林業
- 3 長生地域の特色を生かした農村の活性化
 - (1) マーケティング活動の支援
 - (2) 食の安全・安心と環境にやさしい農業の推進
 - (3) 耕作放棄地・有害鳥獣対策の推進
- 4 災害等への危機管理強化
 - 国土の強靱化、災害に強い地域づくり、流域治水対策



多様な担い手の育成



ネギ産地



森林林業



水田営農

トマト産地の維持・強化

現状と課題

- ・生産者の高齢化、作付面積及び出荷量の減少
- ・施設の老朽化や異常気象及び病虫害等の発生による収量の不安定化

目指す姿

指定野菜産地出荷量 5,682t（夏秋トマト、冬春トマト）

【重点施策における取組】

- ・産地を支える経営体の育成
- ・新規就農者の受入れ定着化
- ・スマート農業の技術の普及
- ・病虫害対策技術の確立
- ・各種施策を活用した施設機械の導入支援による経営支援

ネギ産地の維持・強化

現状と課題

- ・生産者の高齢化、作付面積及び出荷量の減少
- ・多様な担い手の増加
- ・異常気象及び病虫害発生による単収の不安定化

目指す姿

指定野菜産地出荷量 1,503t（秋冬ねぎ）

【重点施策における取組】

- ・新規生産者の受け入れや、生産技術の指導体制を強化
- ・省力機械等の導入や作業委託などの経営モデルの育成
- ・安定出荷のため、ほ場排水性の改善や土づくり等の基本技術の励行

水田営農の維持・強化

現状と課題

- ・担い手農家の減少、高齢化
- ・米師の低下に伴う飼料用米等の新規需要米等の生産拡大
- ・労力不足や省力化技術の導入

目指す姿

飼料用多収品種の10a当たり平均地域単収
（中山間地域）540kg
（平坦地域）595kg

【重点施策における取組】

- ・新規需要米の生産拡大と経営の安定化
- ・スマート農業の活用や農地集積による生産の効率化
- ・集落営農活性化プロジェクトの活用

災害に強い森林づくり

現状と課題

- ・気象災害による風倒木からインフラ施設の被害を未然に防ぐ森林整備
- ・狭くい虫被害による疎林化の適性な復旧と再生

目指す姿

災害に強い森林づくり推進面積 42,0ha（累計）

【重点施策における取組】

- ・被災森林の復旧と未然防止
- ・山地災害対策の推進
- ・海岸県有保安林の整備・再生